

「学習者主体の授業」実践例

鹿児島市
教育委員会

中学校2年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

動物の刺激と反応の関係性について, その関係性を見出して表現することができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

自ら課題解決する方法を選択しようとする。

自らの課題解決の過程の学びを振り返り, 他者の意見を参考にしながら自身の学びを修正・改善しようとする。

○ 工夫した点

○ 実験を基に刺激と反応の関係性を見出す場面において, 教科書だけでなく, ロイロノート・スクールや動画などの「道具」を準備し, 一人で考えることやペアで考えることなど「学習形態」を各自で選択させた。

○ グループを構成することで考えや疑問については即時に他者と確認できるようにし, 課題の終わった生徒についてはミニティーチャーとしての役割を与えることで学びの定着を促した。

今までの授業では…

課題の把握

課題の探究

課題の解決



○ 上記のような探究活動において, 主体的・対話的な学習が展開されるようになった。しかし, 一人一人が課題意識をもち, 課題解決に向けて自分でやり遂げたというような達成感を実感するまでには至ってなかった。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

感覚器官で受け取られた刺激は, 神経系のどこを伝わり, どのようにして反応を引き起こすのだろうか。

導入

○ ロイロノート・スクールのテストカード・ゲームモードを活用し, 前時の学習を振り返る。

生徒が意欲的に学習に参加する



課題把握

○ 刺激と反応に関する実験を全員で実施し, 個人の課題をもち学習課題を把握する。

① 参加型の活動により, 自ら問いを発見する



課題探究

○ 学習形態を生徒自ら選択し, 課題解決に取り組む。



教科書



eboard
(イヤホン使用)



navima

② 教師が様々な学習形態を整えることで, 子供が解決の方法を見通す



ペア学習

③ 子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する子供が自らの学びを振り返り, 次に生かす



終末

○ 課題の解決や振り返りの場面で, 他者の意見を参考にしながら自身の学びを修正・改善する。

④ 子供が自らの学びを振り返り, 次に生かす



振り返りの場面における協働的な活動

「学習者主体の授業」実践例

三島村
教育委員会

義務教育学校7年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】ヨーロッパ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解することができる。ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】ヨーロッパ州の学習を通して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

○ 工夫した点

- 学習者が見通しをもって主体的に取り組むために、単元の導入の1時間を使い、問いを立て、学習計画を立てる時間を十分にとった。
- 学習内容を理解・整理するためにインプットの時間も十分に確保した。そして、効果的なアウトプットの場を設定として、プレゼンテーションにまとめさせ、思考力・判断力・表現力の向上につなげた。
- 学習者の改善点や進捗状況を明確にし、より意欲的に取り組むために、評価とフィードバックを充実させた。そのためにルーブリック評価表を作成し、相互評価・自己評価を行い、メタ認知能力を高める手立てとした。学習計画表・相互評価表・ルーブリック評価表は、生徒と共有した。

今までの授業では…

【単位時間毎に資料を提示し、学習課題を立て、それについて教師が主となって教えるというものだった。】

先生：この資料から、どんなことが分かりますか。

生徒A：ヨーロッパは小さな国がたくさん集まっている州です。

先生：ヨーロッパ州は、なぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのかみんなで考えていきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

- ① 資料等を提示し、単元全体の問いを立てる。
- ② 単元の問いを解決するためにどのようなことを調べていけばよいか、**自分なりの問い・調べたいことを基に学習計画を立てる。**
- ③ 第1時で立てた学習計画を基に、教科書や資料集を中心に調べ活動を行い、**自分の立てた問いを解決すべくプレゼンテーション（Canvaを使用）にまとめていく。**
- ④ 生徒は個人又はグループで、プレゼンテーションをし、全体で単元の問いに対するまとめを行うっていく。

プレゼンテーション後は、**教師が提示したルーブリック評価表を基に相互評価・自己評価を行う。教師も評価し、それぞれが確認できるようにする。**メタ認知能力の向上にもつながる。

【単元の学習計画表】

ヨーロッパ州の自然環境、気候、文化、人口はどのような特色があるのだろうか？

ヨーロッパ州の統合はどのような動きがあるのだろうか？

ヨーロッパでは、いつ、どこで、どの国が、どのように進められたのか？

ヨーロッパでは環境問題を改善するために、どのような取り組みが行われているのだろうか？

EUは、どのような役割を果たしているのだろうか？

プレゼンテーションにまとめる前におさえておきたいポイント・キーワードの整理

調べる内容

それぞれの問い

	S	A	B	C
知識・技能	○○○について、用語の意	○○○について、用語の意	○○○について、用語の意	○○○について、用語の意
思考・判断・表現	具体的に文章や図表が読み取りやすい。他国に関する事象の長が分かる。具体的な事象や事象間の関係が読み取れる。	具体的に文章や図表が読み取りやすい。他国に関する事象の長が分かる。具体的な事象や事象間の関係が読み取れる。	具体的に文章や図表が読み取りやすい。他国に関する事象の長が分かる。具体的な事象や事象間の関係が読み取れる。	具体的に文章や図表が読み取りやすい。他国に関する事象の長が分かる。具体的な事象や事象間の関係が読み取れる。
主体的に学習に取り組む態度	世界の地理に関わる事象や世界の地理に関わる事象に関心が高く、資料集に積極的に取り組む。自分の疑問に思ったことも調べる。積極的に話し合い、学びを深めたい。	世界の地理に関わる事象や世界の地理に関わる事象に関心が高く、資料集に積極的に取り組む。自分の疑問に思ったことも調べる。積極的に話し合い、学びを深めたい。	世界の地理に関わる事象や世界の地理に関わる事象に関心が高く、資料集に積極的に取り組む。自分の疑問に思ったことも調べる。積極的に話し合い、学びを深めたい。	世界の地理に関わる事象や世界の地理に関わる事象に関心が高く、資料集に積極的に取り組む。自分の疑問に思ったことも調べる。積極的に話し合い、学びを深めたい。

先生：EUの通貨（ユーロ）を見せて、通貨についてアジア州と比較させてみる。

生徒A：アジア州は、日本の円や中国の元、韓国のウォンなどたくさんあるが、ヨーロッパは多くの国が同じ通貨を使用しているんだ。

生徒B：同じだとメリットとかデメリットがあるのかな。ヨーロッパはなんでEUといったまとまりになってきたのだろう。

先生：では、ヨーロッパ州については、特に「統合」に着目して、調べていってみましょう。そして、探究課題を追究するために、どんなことを調べていく必要がありますか。

振り返り評価	振り返り評価	振り返り評価	振り返り評価
教師	Aさん	Bさん	Cさん
評価 (知・思・主) = A・B・B	評価 (知・思・主) = A・A・A	評価 (知・思・主) = A・A・A	評価 (知・思・主) = A・A・A
ひとこと 用語をしっかりと押さえていた。キーワードが見やすいように色付けしてあったのが良かった。用語集の整理を助けてくれたらいいと思う。	ひとこと 写真なども使っていて、わかりやすかった。	ひとこと 全体的に整理ができていて、わかりやすかった。プレゼンテーションにまとめるのが上手だった。	ひとこと キーワードをたくさん押さえていた。いいと思う。もう少し、つづつと整理して、もっと詳しく調べていけたらいいと思う。
評価 (知・思・主) = A・B・B	評価 (知・思・主) = B・B・B	評価 (知・思・主) = A・B・A	評価 (知・思・主) = A・B・A
ひとこと 自分の問いと答えがはっきり見えていて、考えがまとまっていた。調べたことがよく分かった。言葉の使い方が上手だった。言葉の整理ができていた。	ひとこと 言葉の整理ができていて、わかりやすかった。	ひとこと 自分の問いと答えがはっきり見えていて、考えがまとまっていた。調べたことがよく分かった。言葉の使い方が上手だった。言葉の整理ができていた。	ひとこと 自分の問いと答えがはっきり見えていて、考えがまとまっていた。調べたことがよく分かった。言葉の使い方が上手だった。言葉の整理ができていた。
評価 (知・思・主) = B・A・B	評価 (知・思・主) = B・B・B	評価 (知・思・主) = B・B・B	評価 (知・思・主) = B・B・B
ひとこと 中国の特色や課題等が資料と共に説明されていて分かりやすかった。	ひとこと 中国の特色や課題等が資料と共に説明されていて分かりやすかった。	ひとこと 中国の特色や課題等が資料と共に説明されていて分かりやすかった。	ひとこと 中国の特色や課題等が資料と共に説明されていて分かりやすかった。



プレゼンテーションを作成するにあたり、大事なところを協働的に考えながらまとめる姿も見られた。

【相互・自己評価】

「学習者主体の授業」実践例

枕崎市
教育委員会

中学校1年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、写真や分布図などから読み取ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、交通網、農業経営の仕方などから考察し、説明することができる。

○ 工夫した点

- 身近な話題を視覚的に提示し、「アメリカの農業の特徴について調べたい」という意欲をもたせる。
- 気候、交通網、農業経営の仕方の3つの資料のうち一つを選択して読み取らせる。その後、他の資料を読み取った生徒と「資料から分かったこと」を共有させることにより、課題の解決に迫る。

今までの授業では…

【学習課題】

アメリカの農業の特色はどのようなものがあるのだろう。



- 先生：アメリカの農業の特色としてあげられるキーワードがありますが、これは何でしょうか。
- 生徒A：「適地適作」だと思います。
- 先生：次に、これらの資料から分かることは何だろうか。
- 生徒B：「企業的な農業」だと思います。
- 先生：では、アメリカの農業の特色について、詳しく考えていこう。

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

- 生徒A：なぜ、アメリカのお米はこんなにも安いのかな。
- 生徒B：アメリカから日本への輸送費もかなりかかっているはずなのに、それでも安いのはなぜだろう。
- 先生：アメリカの農業には、日本の農業とは何か違う特色がありそうだね。

あるスーパーマーケットで



国産3,000円
米国産850円



【学習課題】

なぜ、アメリカのお米の価格はこんなに安いのだろうか。

子供が解決の方法を見通す

- 先生：ここに3種類の資料があります。資料①はアメリカ合衆国の気候について、資料②はアメリカ合衆国の交通について、資料③はアメリカの農業の経営の仕方についてです。このうち、**どれか一つを切り口に、アメリカの農業について、じっくり調べてみよう。**では、教科書やロイロノートの資料、タブレット等何を使ってもいいので調べてみましょう。3人グループで3つの資料をそれぞれ活用しよう。

子供が解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

- 先生：**3つの資料のそれぞれから分かったことをグループで持ち寄ると、農作物の価格の安さの秘密にたどり着けると思いますよ。**
- 生徒C：私の資料では、西側の地域に、降水量の多さを生かして広大な畑があることが分かったよ。
- 生徒D：私の資料からは、この地域から都市部に向かって何本もの線路が敷かれていることが分かった。もしかすると鉄道を使えば、農作物の大量輸送ができそうだ。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

- 先生：**Cさんが今気付いたその特徴は「適地適作」と呼ばれています。今日の学習のまとめの際は、その語句を使うといいですよ。**
- 生徒A：私の資料では、西側の地域に、降水量の多さを生かして広大な畑があることが分かったよ。
- 生徒B：君たちの気づきをまとめたら、「企業的な農業による適地適作や、大量輸送の仕組みにより、価格を安くできている」と言えそうだね。

「学習者主体の授業」実践例

阿久根市
教育委員会

中学校2年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

接続詞becauseを用いた文の形・意味・用法を理解できる。

【学びに向かう力、人間性等】

阿久根のおすすめについて理由を含めて伝えようとする。

○ 工夫した点

- 生徒が主体的に学ぼうとする意欲を高めるために、単元のゴールや単元を通した振り返りシートを作成し、見直しをもって授業に参加できる授業づくりを行った。
- 言語活動の充実を図るために、フォニックス指導やICTを活用した単語指導、ペア学習による学び合い・練り上げの時間の設定、パフォーマンステストを実践した。

今までの授業では…

【学習課題】

自分の意見をより相手に伝わりやすくするには、どうすればよいだろう。



- 先生：今日の授業を振り返り、自己評価カードに記入しましょう。
生徒A：今日の授業では、becauseの使い方が分かった。
生徒B：相手に伝える文章をつくることができた。
先生：次の時間はパフォーマンステストになりますので、準備をしておきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

阿久根のおすすめについて、理由を含めてよりよく伝えよう。

子供が解決の方法を見通す。



【ALTとのダイアログ】



【ペア学習による練り上げ】



【振り返りシート】

- 先生：まずは、先生とALTの2つのパターンのお話を聞いて気付いたことと、その理由を発表してもらいます。
生徒A：最初のパターンは会話が続かなかったなあ。
生徒B：二つ目のパターンはコミュニケーションがとれて相手によく伝わっていたと思います。
生徒C：becauseという言葉が聞こえたよ。becauseを使えばいいんじゃないかな。
先生：では、相手によりよく伝えるために接続詞becauseについて学んでいきましょう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協議する。

- 先生：阿久根のおすすめについて紹介した映像をペアで確認して、よりよく伝えるためのアドバイスをしてみましょう。
生徒A：becauseをこの部分に入ると論理的に説明でき、相手に伝わりやすくなるんじゃないかな。
生徒B：そこを意識して書き直してみるね。Aさんは、もう少し前を向いて話をすると相手にもより伝わると思うよ。
先生：では、今のアドバイスを基に、もう一度、紹介文を修正しタブレットで撮影してみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。

- 先生：それでは、パフォーマンステストに向けて、今日の学習を振り返り、できるようになったこと、よりよく表現するために必要なことを記入しましょう。
生徒A：理由を表すbecauseを使うことにより、相手に伝わりやすい文章になった。
生徒B：次は、パフォーマンステストか。今までに学習した接続詞を上手に使うと相手に分かりやすくなるので、そこを見直して挑戦しよう。

「学習者主体の授業」実践例

薩摩川内市
教育委員会

中学校2年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

東北地方の自然環境、産業、歴史に関する資料から読み取った情報を関連付けて、東北地方で伝統的な夏祭りが多く受け継がれている理由を考察し、説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

学習課題を解決するために、調べる内容や方法を選択し、見通しをもって主体的に追究しようとする。

○ 工夫した点

- 学習課題を解決するために、予想を基にどのような内容をどのような方法で追究すればよいかを自己決定することによって、見通しをもって主体的に課題追究を進めることができるようにする。
- 夏祭りの由来について調べて分かったことに、自然環境や産業、歴史に関する情報を関連付けて、地域の特徴を総合的に捉えることができるような「キー発問」を行う。

今までの授業では…

【学習課題】

東北地方にはどのような伝統や文化が見られるのでしょうか。

- ・ 教師が提示した資料を使って、全員が同じ方法で学習を進める。
- ・ 調べた内容が関連付かず、個別の知識の習得にとどまり、深い学びに至らない。

先生： 東北地方には、どのようなお祭りがあるのでしょうか。
生徒A： 秋田竿燈まつり、仙台七夕まつりなどがあります。
先生： それぞれの夏祭りがいつ頃始まったのか、どのような由来があるのか、教科書〇ページの資料を使って調べて、ワークシートにまとめましょう。
先生： 各自が調べたことを発表しましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

視点①子供が自ら問いを発見する

生徒A： (教科書やインターネットの観光ガイドを基に) 秋田竿燈まつりや仙台七夕まつりなど、東北各地で伝統的な夏祭りが行われ、多くの観光客が訪れているんだね。

生徒B： 他の地方と比べても、多くの夏祭りツアーが開催されているね。

生徒C： なぜ、東北地方では伝統的な夏祭りが多く受け継がれているのかな。

【学習課題】

なぜ、東北地方では伝統的な夏祭りが多く受け継がれているのだろうか。

視点②子供が解決の方法を見通す

先生： 学習課題に対する予想を立てましょう。

生徒C： 秋田の竿燈は稲穂に似ているね。お米の豊作を祈って祭りを始めたんじゃないかな。

生徒D： 仙台七夕まつりや青森のねぶたまつりにも同じような意味がありそうだね。

先生： 予想が正しいかどうかを確かめるために、どのような内容をどのような方法で調べればよいでしょうか。

生徒E： それぞれの夏祭りの由来について調べたらよいと思います。

生徒F： 教科書では分からないので、資料集やインターネットで調べたらよいと思います。

先生： 東北地方の夏祭りを一つずつ選び、自分が選んだ方法で、由来を調べましょう。そして、それぞれが調べたことをロイロノートで共有しましょう。

視点③子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

生徒G： 調べた内容から、お米の**豊作への願い**を込めた祭りが多いことが分かりました。

【キー発問】

先生： 人々は、なぜ**豊作への願い**を祭りに込めて表現する必要があったのでしょうか。

生徒H： 寒い地域なので、お米をつくる人々は大変な苦労があったのではないのでしょうか。

先生： 米づくりをする人々にはどのような苦労があり、どのように乗り越えてきたのか調べてみましょう。そして、調べたことをロイロノートで共有しましょう。

生徒I： 夏に吹くやませの影響で冷害が起こり、お米がとれずに、度々きんが発生したことが分かりました。

生徒J： 冷害を克服するために品種改良を行い、寒さに強い稲をつくり出してきたことも分かりました。

先生： 調べたことや話し合ったことを関連付けて、学習課題の答えをまとめましょう。

視点④子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生： 今日の授業で、分かったこと、友達との交流を通して参考になったこと、更に知りたいことを振り返りシートに記入し、ロイロノートで提出しましょう。

「学習者主体の授業」実践例

さつま町
教育委員会

中学校1年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

事象の中の数量やその関係に着目し一元一次方程式をつくることができる。方程式の必要性と意味を理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

一元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。

○ 工夫した点

- 導入では、前時までに学んだことを掲示物やプレゼンテーションで振り返ることで、レディネスをそろえた。また、1問目の学習課題を一斉に解決することで、見通しをもつことができるようにした。
- 2問目の学習課題以降は自由進度学習とし複数の難易度の問題から自分が取り組みたい課題を選ぶようにした。また、学習形態も子どもに自己選択できるようにすること、主体的に課題解決に取り組めるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

何人かの子供にりんごを配るのに、1人に2個ずつ配ると5個あまり、3個ずつ配ると10個たりません。子ども的人数とりんごの個数を求めなさい。

- 先生：今日は、子供的人数とりんごの個数を求めます。これまで1次方程式を解く方法を学習してきました。今日は、この文章問題を解きます。子供的人数を文字に表して、この文章問題を1次方程式にしてみましょう。
- 生徒：1人に2個ずつ配ると5個あまるということは…

学習者主体で授業をデザインすると！

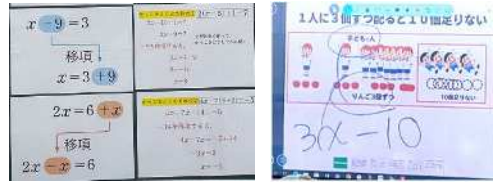
【学習課題】

身の回りの問題を、1次方程式を利用して解決しよう。

先生：これまで学習したことを生かして、身の回りにある問題を考えてみましょう。

生徒：分かってる数と分からない数をはっきりさせると1次方程式がつかれて、解くことができるのかな。

子供が自ら問いを発見する



先生：1人に3個ずつ配ると10個たりないという場面を図で表すとこのようになります。式に表せそうですか。

生徒：何人いるかが分からないから人数を文字で表すとよさそうだ。

子供が解決の方法を見通す

先生：それでは、1問目の解き方を生かして、2問目に取り組みましょう。2問目が解いたら自己採点して、次の問題にチャレンジしましょう。難易度の異なる問題を準備してあります。自分に合った問題を選んで解いてみてください。困ったときには、解説動画を参考にしたり、友達と学び合ったりしましょう。



生徒A：2問目を解いてみたけど採点したら間違っていたよ。ちょっと教えてくれないかな。

生徒B：解説動画を見て、考え方が合っているか確認しよう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する



先生：（難易度3の問題で悩んでいる生徒に）1人で解決するのが難しいようだね。友達が廊下のホワイトボードを使って考えているから一緒に考えてみるといいよ。

先生：今日の学習を振り返り、分かったことや学んだことをまとめましょう。また、自分で選択した学び方（時間の使い方、使った道具、学習スタイル）についても振り返りましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす



「学習者主体の授業」実践例

霧島市
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

具体的な事象の中から、数量の関係を文字を用いて表現したり、その意味を読み取ったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

文字を使った説明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる。

○ 工夫した点

- 生徒が意欲的に取り組める課題の設定を行い、具体的な数で取り組むことで予想を立てやすくした。
- 個人で考察する、互いに意見を出し合う時間を設定し、問題解決に向かうようにした。
- 問題解決の過程を振り返り、身の回りの事象につなげるようにした。

今までの授業では…

【学習問題】

- (1) 0～9の中から2数を選ぶ。
- (2) その2数を縦に並べ、上下の数をたす。
- (3) たした答えを3番目に書き、2, 3番目の数をたす。
- (4) この計算を10番目まで繰り返す。

1番目から10番目の数を全てたした答えが、7番目の11倍になっていることを、文字式を使って説明せよ。

先生： 文字は何種類使いますか。

生徒A： 2種類なので、aとbを使います。

先生： まず、文字式を使って10番目まで表してみてください。そして、それらの加法を行います。

生徒B： 計算が大変です。

先生： 11の倍数になっていることを説明するので、 $11 \times ()$ の形で表してみてください。

学習者主体で授業をデザインすると！

先生： 今から①～④までを一緒に確認してみましょう。では、⑤1番目から10番目の数を全てたした答えを求めてみてください。先生は既に答えが分かっています。

生徒A： 先生の計算が速い。

生徒B： どうやって早く簡単に求めているのだろうか。

【学習課題】

どのようにして、10番目までの和を簡単に求めることができるのだろうか。

先生： それでは、今からMicrosoft Excelを操作しながら、どのように計算しているのか具体的な数を使って考えてみよう。(ICTの活用)

生徒A： きまりが見付けられない。(7番目の数の11倍かな?)

先生： どんな方法で考えることができるか。説明ができるか。

生徒B： たし算を簡単にしているからかけ算ではないか。

生徒C： 文字式を使ってみればきまりが分かるかな。2つの文字。

先生： 文字式を使って考えてみよう。(ロイロノートでテキストカードを送信する。)

先生： 資料箱にもう少し細かいテキストカードを準備してあるのでそちらを使っても構いません。席を動いて、一緒に課題に取り組んでも構いません。生徒Aが終わっています。質問してみましょう。質問する際は、何が分からないのか具体的に質問するようにしてください。(対話活動力の向上)

先生： 課題が終わった生徒は、説明できるように練習しておいてください。(対話活動力の向上)

子供が解決への意欲をもつ。自ら問いを発見する。

子供が解決の方法を見通す。



理由を説明する

「○○(根拠)」だから、「△△(成り立つこと)」である。

終末

先生： 今日の自分の学習を振り返りましょう。学んだこと、感じたことを書いてください。次の時間で学びたいこと、気になったこと、何でもいいです。

ロイロノートでMicrosoft Formsの質問に答えてください。(ICTの活用)

子供が自らの学びを振り返り、次の学習・指導に生かす。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し、協働する。

1...	a
2...	b
3...	a+b
4...	a+2b
5...	2a+3b
6...	3a+3b
7...	5a+3a
8...	5a+3b
9...	7a+4b
10...	7a+4b
合計	55a+35b

11x(5a+3b)

フィボナッチ数列	外国	白銀比	建築物
計算	則	答え	数学
発展	斐波那契数列		歴史
ヒント	分配	文字式	黄金比 7番目
日本	フィボナッチ数	求め方	

「学習者主体の授業」実践例

湧水町
教育委員会

中学校1年
数学



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力・判断力・表現力等】

等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。

【学びに向かう力・人間性等】

一元一次方程式を活用した問題解決の過程を基に、学習方法や内容を自己選択・自己決定しようとしている。

○ 工夫した点

○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（単元内自由進度学習）

- 1 自分で学びを選択できるようにするために、ワークシートや学習支援動画を準備する。
- 2 自分で立てた見通しを基に、個やペア・グループでの学習を選択させ、考えさせる。
- 3 多様な解決方法に気付かせるために、他者の意見を聞きに行かせる。
- 4 学習内容を振り返らせるとともに、定着を図るために、「分かったこと」「学習方法」の視点で自分の言葉で振り返らせる。

○ ICTの活用（教育DXの視点を重視した授業づくり）

今までの授業では…

【学習問題】

お菓子を何人かの子どもに配ります。
1人に5個ずつ配ると12個余ります。
また、1人に7個ずつ配ると4個たりません。子どもの人数とお菓子の個数を求めましょう。

【学習課題】

一次方程式を活用して問題を解こう。

先生： どんな方程式をつくれればこの問題が解けるかな？考えてみましょう。
生徒A： どんな方法で考えればいいのか。
生徒B： 文字を使って解けばいい。
先生： そうですね。（板書で示しながら）求めたいものを文字で表して、方程式をつくるといいですね。それでは、この問題を解いてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

方程式を用いて解きやすくするには、どうすればよいだろうか。



子供が解決の方法を見通す 実践例

「学習形態・スタイル」「解決方法・考え方」の自己選択・自己決定

自分の進度に合わせた学習形態、学習方法、解き方を自己選択・自己決定し、学習を進めていく。（単元内自由進度学習）

【学習形態】

- ① 個で考える
- ② ペア・グループで考える
 - ・教師と学ぶ
 - ・仲間と学ぶ

【学習方法】

- ① 見る
- ② 調べる
- ③ 聞く
- ④ 教える

【解き方】

- ① ワークシート
- ② 教科書
- ③ 学習支援動画
- ④ 発展課題（様々な練習問題）

<個で考える>

ア 学習支援動画を視聴する。



イ 教科書等を確認する。



ウ 教師と学ぶ。



解決方法について確認できましたね。それでは解決するための学習形態や学習方法も自分で選択して取り組んでみましょう。

<ペア・グループ等で考える>

ア 仲間と学ぶ（友だちに聞く。教える。）



イ 教師と学ぶ。



ポイント

- 普段からグループをついたり、生徒が自由に移動しても構わないという雰囲気をついたりしておくことが大切である。
- 机間指導をしながら、生徒の進捗状況を把握し、学びが上手く進まず躓いている生徒には個別に支援することが大切である。
- 教科書やワークシートだけでなく、タブレットを活用した解説動画や友達、教師の支援など生徒が解決方法を自己選択・自己決定できるようにしておくことが大切である。

「学習者主体の授業」実践例

大崎町
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

既習事項を用いて、いろいろな角を求めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

これまでの振り返りから自身をモニタリングとコントロールし、粘り強く課題を解決するための手段や方法を選択して学びに向かうことができる。

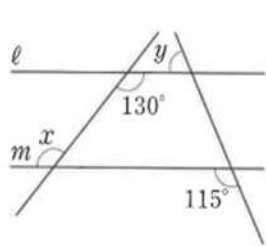
○ 工夫した点

- 単元内自由進度学習を取り入れ、いろいろな角の問題を準備し、自己調整ができるよう、子供の理解の状況から適した問題や難易度が少し高い問題に取り組みさせることで、既習事項の定着と達成感を得ることができるよう活動を設定した。
- 「学習の仕方」と「学習理解度」について、振り返りシートに記入させ、自己調整できるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

$\angle X$ や $\angle Y$ の大きさを求めよう。



- 先生：これまで習ったことを生かして、いろいろな角の大きさを求めてみよう。
- 生徒A：平行線の性質を使えば、角の大きさを求められるかな。
- 生徒B：内角の和の性質も使えるのではないかな。

学習者主体で授業をデザインすると！

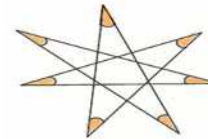
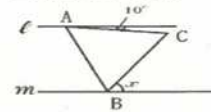
【学習課題】

自分で取り組む課題を選んで、いろいろな角を求めてみよう。

課題：①いろいろな角、②三角形の角、③多角形の角、④総集編(①～③のまとめ)
⑤ワークP76～81、⑥ナビマ等

子供が自ら問いを発見する

△ABCが正三角形



先生：自分が選んだ課題をロイロノートで提出してください。

生徒A：私は、多角形の角の問題に挑戦してみよう。

子供が解決の方法を見通す

先生：自分で必要な情報を探して、まずは、自分の力で解決しましょう。

【道具の自己選択・自己決定：教科書、ノート、ロイロノートの資料箱、生成AI、タブレット等】

生徒B：分からないときには、ノートやロイロノートのヒントカードを使ってみようかな。



先生：自分の力で解決できないときは、友達に尋ねて、解決方法を聞いてみよう。

生徒A：友達に聞いて、多角形の外角の和を生かして考えると、解けることがわかりました。次の問題も同じような考えで、解けそうだな。

生徒B：こんな考え方もあるんだな。どうして、そう考えたのか聞いてみよう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：自分の学習の仕方や課題の取組について、数学リフレクションシートに振り返りをしましょう。

生徒A：多角形の角の課題は終わらせることができた。

生徒B：自分があまり理解できていなかった三角形の角の問題ができるようになった。

生徒C：次回の学習では、総集編の問題に挑戦してみたいな。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす



「学習者主体の授業」実践例

南大隅町
教育委員会

中学校3年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

ALTに日本のものを紹介するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

ALTに日本のものを紹介するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとする。

○ 工夫した点

○ ALTへの紹介を一度ビデオで撮影し、それをALTへ送る。それに対して、ALTからブラッシュアップするポイントをフィードバックする。それを受けて生徒が自分の紹介をよりよいものにしようとした。

○ 生徒が一人で粘り強く取り組むか、友達と協働して取り組むかを選択できるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

レイチェル先生がまだ詳しく知らない日本のものを紹介しよう。

先生：レイチェル先生がまだ詳しく知らない日本のものを紹介しましょう。

生徒A：英作文を考える。

先生：それでは、ペアの人と協力して動画で撮ってください。

生徒A：ペアで動画を撮る。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

レイチェル先生がまだ詳しく知らない日本のものを紹介するために、自分の発表をブラッシュアップしよう。

先生：前時にレイチェル先生に送った動画へのフィードバックが届いています。一人一人見てみましょう。

生徒A：（ALTからの動画を見て）ここの発音をこうすればいいんだな。

生徒B：（ALTからの動画を見て）この情報も付け加えた方がいいんだな。

生徒C：（ALTからの動画を見て）目線が下ばかり見ていたな。

生徒D：（ALTからの動画を見て）レイチェル先生が何て言っているか分からなかったな。

先生：それぞれのブラッシュアップポイントを踏まえて、自分の発表をよりよくするためのMy Goalを考えましょう。

先生：では、それぞれブラッシュアップをしてください。修正が終わったら、本番の動画を隣の教室で撮影してもかまいません。

生徒A：この発音の仕方を先生に聞いてみよう。

生徒B：これは英語で何て言えばいいかな。タブレットで調べてみよう。

生徒C：目線が下がらないように再度練習しよう。終わったら、本番の動画を撮影しよう。

生徒D：レイチェル先生が言っていることが分からないから友達に聞いてみよう。

先生：今日はここまでです。今日の授業を通して、分かったことやもっと知りたいこと、「なるほど」と思ったこと、できるようになったことを書きましょう。また、次の時間は自分が何をすべきかということも考えて書きましょう。

【生徒の振り返り（一部抜粋）】

- ・レイチェル先生に言われた発音の間違いが多かったのが、次の時間には発音を完ぺきにしておくぞみたいと思った。レイチェル先生の話を聞きとることができた。
- ・Google翻訳で間違っていた発音を確認することができた。声に出して読み、合っているかを確認したい。レコーディングは声の大きさ、抑揚に気を付けたい。
- ・「他にも種類がある」と言うときには、There are many kinds of omikuji. を使うとよいことが分かった。少しでもスムーズに言えるように練習してレコーディングをしたい。

子供が自ら問いを発見する



子供が解決の方法を見通す

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する



子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

「学習者主体の授業」実践例

肝付町
教育委員会

中学校3年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

図形の相似についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数学的に表現・処理することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量 について論理的に考察し表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、よりよく問題解決しようとしたりする。

○ 工夫した点

○ 単元内自由進度学習を行うことで、主体的に学習に取り組む態度や学習を自己調整する力を育む。

○ 単元内にパフォーマンス課題を設定し、個別と協働の指導過程を設定した授業デザインを行うことで、学習に対話や深まりをもたせる。

今までの授業では…

○ 教師に与えられた課題を一斉に取り組む。

先生：教科書の○ページを解きます。
終わった人はワークを解いておきなさい。

○ 自分のペースで進められず、停滞したり未解決のまま終わってしまう。

生徒A：終わりました！何すればいいですか？
生徒B：（まだ終わってないけど…）

○ 教師が与える単元の計画に沿って、授業を受ける。

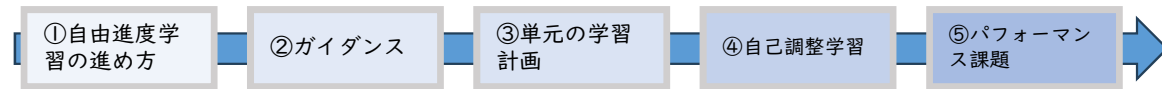
先生：今日は「相似の中心」について学びます。
生徒A：（先生の進めるとおりにすれば大丈夫）

学習者主体で授業をデザインすると！

【単元の問い】

形が同じ2つの図形ではどのような性質が成り立つか？

【単元全体の流れ】



自由進度学習の進め方や教科の学び方のポイントについて学ぶ



学習目標や学習内容、発展課題、どのように実生活で活用されるかを全体で共有する



ガイダンスを基に自分の単元の学習計画をロイロノートで作成する



学習内容や理解度に応じて時間・道具・形態学習方法などを自己選択して学ぶ



単元に身に付けた資質能力を活用して実生活の課題や発展課題に取り組む



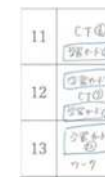
【1時間の流れ】

①全体計画の確認



ロイロノートで全体の計画を確認・調整する

②学習計画を立てる



全体の計画を見て、本時に行う学習カードやチェックテスト・AIドリルなどの計画を立てる

③課題に取り組む



学習方法や学習形態を自己選択し、学習に取り組む

④学習状況把握



ロイロノートのアンケートで学習状況を確認し、メタ認知を高める

⑤自己調整学習



ロイロノートの提出箱を使い、他者の考えを参照して学びを進める

⑥振り返り



学習内容と学び方を振り返り、次時に向けた目標を立てる

「学習者主体の授業」実践例

屋久島町
教育委員会

中学校 2年
英語



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【学びに向かう力、人間性等】

自由進度学習に取り組む中でメタモニタリング、メタコントロールを働かせ粘り強く学習に取り組もうとする。

【知識及び技能】

Unit5で学んだ知識及び技能を学習を通して再構成し深めることができる。

○ 工夫した点

○ 振り返りシートには、単元を貫くラーヂタスクを明記し、見通しをもてるようにした。また毎日のMy Goal設定、授業の振り返り、単元の振り返りを書かせることで自己分析（メタモニタリング）を促すようにした。

○ 単元内自由進度学習の時間を設定し、自己選択、自己決定の場面を導入することで生徒に学びの責任をもたせた。またラーニングスケール（学習到達尺度）による自己分析や、学習計画表を利用し、自己調整（メタコントロール）を働かせ、粘り強く学習に取り組めるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

have toが使われている対話文を聞いたり、have toを使って自分の考えを書いたりしよう。

教師主導で、教師のタイミングで進めるため、生徒の学びの進度に合わせられない。

先生：リスニングをしましょう。2回流すからア～エから答えを選んで。

生徒A：（え、2回じゃ分らない。もう少し聞きたいのに…）

生徒B：（2回聞かなくても1回で分かるし、もっと書く活動がしたいな…）

先生：答えはアです。じゃあ、次は英語で自分の意見を書いてみよう。

生徒A：（結局よく分からないまま次の活動だなあ…）

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

タスク達成に向けて、自分の伸ばしたい力を考え、自由進度学習を通して、Unit5で学んだ内容の理解を深める。

生徒は自分の能力、ペースに合わせて学習活動を選べるため意欲をもって取り組める。

先生：今日から自由進度学習です。ラーヂタスク達成のために自分の伸ばしたい力を考え、学習計画を立てましょう。

生徒A：僕はリスニングが苦手だから、デジタル教科書で何回も聞いて分かるまで頑張ろう。リスニング表現の中にタスクに役立つものはないかな…

生徒B：この新しいhave to っていうまいち分からないんだよな。よし、Writing課題に取り組もう。E君！このページ教えて！

生徒C：ラーヂタスクがビデオメッセージ作成だから今日はスピーキングに取り組もう。Hi, Mr. Tanaka! Let me try Speaking Lv.1 for Part2!

先生：OK. What do you have to do when a typhoon is…

（授業の最後）

先生：今日の自由進度学習を通して、気づいたことや考えたことを書きましょう。

生徒E：B君に教えることでhave to について整理することができた。have toは三単現の時はhasになることに気をつける。メッセージ作成の時に気をつけたい。

ENJOY ENGLISH		2年生Unit5自由進度学習					
		Vocabulary	Grammar	Reading	Listening	Speaking	Writing
Lv1	Part1 p64-p65	ポキヤリスで英単語→日本語で満点が取れる。	新英語のワーク55発展ワーク1を理解して解ける。 must	教科書p64をすらすら音読できる。 must	p65 Listenの問題で正しい答えを選ぶ。 must	教科書p132, 1, 2の絵と単語を使って物語を簡単に説明する。	新英語のワーク55の場面別!英作文が書ける。 must
	Part2 p66-p67	ポキヤリスで英単語→日本語で満点が取れる。	新英語のワークp57発展ワーク1を理解して解ける。 must	教科書p66を音読し、Teams課題で正確性90%以上が取れる。 must	p67 Listenの問題で正しい答えを選ぶ。 must	p67 SpeakとListeningを参考にしての災害の時の対応を英語で伝えることができる。	新英語のワークp57の場面別!英作文が書ける。 must
	Part3 p68-69	ポキヤリスで英単語→日本語で満点が取れる。	新英語のワークp59発展ワーク1を理解して解ける。 must	教科書p68を音読し、Teams課題で正確性90%以上が取れる。 must	p69 Listenの問題で正しい答えを選ぶ。 must	教科書p69のSpeakを参考にして、ペアでお互いにアドバイスを送り合うスキットを作ることができる。	新英語のワークp59の場面別!英作文が書ける。 must
Lv2	Advanced Homework	U5単語テストの単語を書けるようになる。 新英語のワークp60を理解して解ける。	並び替えドリルp9, 10を理解して解ける。 新英語のワークp61を理解して解ける。	新英語のワークp62長文問題を解ける。	p70 Unit5 Goalを聞いて、満点がとれる。 must	JessとWhat do you have to do at school?で始まる1分程度の会話ができる。	屋久島のおすすめの場所について20語程度で書いたものに、have to, must, shouldを使っておすすめを追加することができる。
	Lv3 Goal	U5単語テストで満点が取れる。	U5単元テストで満点が取れる。	Unit Task (Unit4-5合同) JessがNew Zealandの友だちに屋久島の魅力を紹介したいと考えています。あなたのおすすめの屋久島の場所を紹介するビデオメッセージを作成し、屋久島の魅力を伝えましょう。			

Check Stars 今日チェックもらった☆を塗りつぶそう。 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

自由進度学習で使える英語表現集

May I ask you a question? (質問いいですか) How do you read this? (これはなんて読みますか)

May I use headphones? (ヘッドフォン使っていいですか) May I read page ○? (○pを読んでいいですか)

「学習者主体の授業」実践例

和泊町
教育委員会

中学校3年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

図形の形を変えずに、2倍の大きさにする活動を通して、相似な図形を理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

2倍に拡大させる方法を、積極的に複数個考えることで、元の図形と拡大した図形(相似な図形)との関係について考え、まとめることができ、他人と意見交換をすることができる。

○ 工夫した点

- 学習形態(個かペアかグループ)や学習方法(ノートかタブレット)を自己選択できるようにし、自らの判断で学習課題に取り組めるようにした。
- 問題解決の方法を5個準備し、クラス全体で全ての解決方法を見付け出すように指示を与え、1人最低2個は解決方法を見付けるようにさせ、問題解決していない方法は他人から教えてもらえるような展開にした。そのことで、問題解決中も他人に伝えるための方法も考えながら活動したり、ねばり強く活動を繰り返したりすることができた。

今までの授業では…

【学習課題】

右の図のように、輪ゴムを使って絵をかくと、どんな図形がかけられるか考え、輪ゴムを3本、4本と増やしていったときにどのように変わるか考え、分かったことをまとめよう。

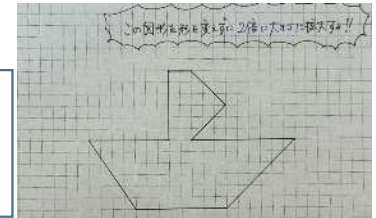


- 先生： このようにしてかくと、どのような図形になると思いますか？
- 生徒A： 形は変わってない。
- 生徒B： 大きさが、大きくなっている。
- 先生： そうですね。では、3本、4本と増やして実際に書いてみて確認しよう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

この図形の形を変えずに、2倍の大きさに大きくする活動を通して、元の図形と拡大した図形との間にどのような関係があるのか考えをまとめよう。



- 先生： どのようにしたら、形を変えずにこの図形を2倍の大きさに拡大できると思いますか？
- 生徒A： 線の長さを2倍にすればいい！
- 生徒B： マス目がある紙があればできそう！
- 生徒C： 定規、分度器が必要！
- 先生： では、みなさんが言ってくれたことを利用して拡大してみよう！でも、まだ多くの方法があるので、他の方法も含めて、5つの方法から考えてみてね！

子供が解決の方法を見通す

個人で始める生徒もいれば、グループを作って始める人もいる。各々が時間配分も考えて、問題解決を行う。

- 先生： 投影される画像のどこに着目しているのかな？
- 生徒A： 辺の長さです。プロジェクターを使って調べるには、どこにこの紙おけばいいのかな？
- 生徒B： 大体こちら辺じゃない？(様子を動画で生徒Cが撮る)
- 生徒A： 次は、輪ゴムを使ってやってみよう。
- 先生： 輪ゴムとプロジェクターはどちらが正確そう？
- 生徒A： 輪ゴムの方が正確そう…
- 生徒B： さっきと大きさ違うじゃん！プロジェクターをやりなおそう。
- 生徒C： プロジェクターとの距離を半分にしてみても？
- 生徒B： 輪ゴムの時と同じぐらいの大きさになったからこれだ！



【グループで学ぶ様子】

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

- 生徒A： パズルでやってみよう。(途中で)面積2倍じゃない…(不安になり後ろにいる友達に尋ねる)
- 生徒B： え。そうなの？確かに、2倍より大きいね。
- 先生： 良いところに気付いているね！何倍ぐらいだと思う？
- 生徒A： 分かった！同じ紙を4枚使っているから4倍だ！



【個やペアで学ぶ様子】

- 先生： 今日の学びを全体に伝えよう。
- 生徒A： 2倍の大きさに拡大すると面積が4倍になることが分かった。
- 生徒B： プロジェクターの位置の半分の位置に置くと2倍になる。
- 先生： 今日の学びで一番印象に残っているものをロイロに書いてね。みんなの気付きがこの単元の学びにとでもつながっているよ。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

振り返りは個人のタブレットをキャストでつなぎ発表した。

「学習者主体の授業」実践例

与論町
教育委員会

中学校3年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

どのような企業の株式を購入するか、多面的・多角的な観点から考察し、判断することができる。

○ 工夫した点

- 4月段階で株式購入のシミュレーションを行い、授業日での株価の変動から「よりよく株式を購入したい」という意欲をもたせる。
- 株式を購入する際に、多面的・多角的な観点で購入することが大切であることから、自分が選択した観点を満足するだけでなく、多くの級友と対話活動をする中で視野を広げ、思考の深化を図る。

対話活動による
思考の深化



今までの授業では…

【学習課題】どのような観点を株式投資はなされるのだろう。



何のために株式投資をしたいと思いますか。資料を基に観点を探してノートに書きましょう。

どのような観点がありましたか。Aさん、黒板に書いてください。他にはありますか。

そうですね。Bさんのように、〇〇もありますね。

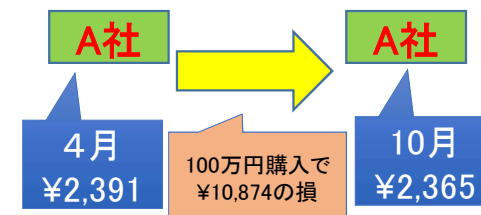
一斉・一律・一方向になってしまい、生徒の思考・表現が深まらない。

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

- 生徒A： 4月に選んだ株の価格はどれくらい変わっただろう。
 生徒B： どうすれば損をしなかっただろう。
 生徒C： ぼくは、好きなメーカーだから別に損してもいいかな。
 先生： 株式投資で、お金の損得以外にも何か観点がありそうだね。

4月選んだ株はどう変動したかな？



【学習課題】株式投資をする際、どのようなことに気をつければよいか。

子供が自分なりの観点をもち

- 先生： みなさんに送信した資料に23の観点が 있습니다。自分が株式購入をするとき参考になりたい観点を資料から選ぶか、その他の観点を考え、スプレッドシートに入力し、選んだ理由を考えましょう。後で周りの人と交流します。
 生徒A： 私は、「安定度」を選んだよ。安定した企業じゃないと投資は怖いからね。

観点(23)	観点(23)
安定	業
経済活動	企業業績
地域活性化	地域性
安定度	利益(株主利益)
地域	企業業績
成長可能性	地域活動
業	地域活動
地域活動	社会資本
利益	地域活性化
株主利益	企業業績

【スプレッドシート】

子供が対話活動を通して多面的・多角的な考え方を知り、考えを深める

- 先生： 自由に席を離れ、友達と「選んだ観点」について交流しましょう。その際、自分の意見をしっかりと伝え、相手の意見もしっかり聞いて参考にしましょう。
 生徒B： ぼくは、「地域活動」を選んだよ。地元を支えて成長すると地域が活性化するからだよ。
 生徒C： なるほど、与論のためにもいいかもしれないね。



子供が自らの学びを振り返り、自分が選んだ株式投資の観点でまとめる

- 先生： 友達との交流を踏まえ、どのような観点を投資をしたいかまとめましょう。
 生徒C： Bさんが言っていた地域の活性化に納得したから、「利潤」だけでなく「地域活動」の観点についても踏まえて投資を考えたいと思ったよ。

教師の見届け

